

第 208 号

ほほえみの会

2019.11.10

<2019.10.13 第 291 回 ほほえみの会>2 人が参加しました。

<2019.11.10 第 292 回 ほほえみの会>4 人が参加しました。

▼院内学級の話から子供の教育について話が出ました。小学校での英語やプログラミングも大事だが、それよりもしつけや道徳についてしっかり学ぶ必要があるのではないかとの話が出ました。

▼入院中の兄弟について悩みがあるとき、医師や看護師は忙しそうで声がかけれない。看護師さんの方から声をかけてもらえるとありがたい。

一方で、プライマリーさんで行動の先読みをして対応してくれる素晴らしい看護師さんもいるという話もありました。

▼昨日（11.9）名古屋大学病院で小児がんピアサポーター養成研修会があり全国から 40 人以上が集まりました。ピアとは仲間という意味で同じような立場にいる人が今悩んでいる人の相談相手になるもので実演を含めての充実した会でした。

研修を前に名古屋大学医学部で進められている小児がん最新医療について講演がありました。講師は以前、静岡こども病院にいた西尾医師で、最近特に神経芽細胞腫と急性リンパ性白血病の治療で成果が出ているということです。

神経芽腫では臍帯血移植であえて HLA の型が違う臍帯血を移植するもので、違う HLA ががん細胞を攻撃してくれるというものです。

また、急性リンパ性白血病では免疫療法という新しい治療法が紹介されました。患者の血液からリンパ球を取り出し、その細胞の遺伝子に CAR 遺伝子を入れ込んで培養したうえで体に戻してやるというものです。いま、培養はアメリカでしかできないということで費用は 3300 万円ほどかかるそうですが、この免疫療法の新たな方法を開発したということで、安く提供でき世界中に広がる治療法として注目されているということです。